

# 令和5年11月 せとまちトーク

(市民と議会の意見交換会)

幡山中学校区

会場 山口公民館

## ① テーマ

学校のために地域ができること



## ② テーマに対してあなたが考える課題・問題点

<子供>	<先生>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 国道の近くにあり、交通事故にあうのではないかと思うこと</li><li>● 児童・生徒の安全を守る（交通・防犯） 通学路、時間</li><li>● 幡山中学校の前の道の整備が行われたが、前の道の拡張が必要</li><li>● 自然環境の中での学び</li><li>● 子どもが遊べる公園が少ない</li><li>● 公園があっても地域住民の理解が少なく、ボール遊びなどが難しい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 先生が1つの学校にいる期間が短い</li><li>● この地域の無形文化財の「棒の手」の継承が難しい</li><li>● もーやっこ隊募集したが20名 → 見守り体制の不安</li><li>● 働き方改革 教員しかできない事 地域の者ができる事 → 切り分けて取り組むべき</li></ul>



## ③ 課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政

地域

その他

<ul style="list-style-type: none"><li>● 歩道橋の設置</li><li>● バイパスの整備 小学生が通学するところは大型車かバイパスに流れるようにする</li><li>● 「棒の手」を知っている先生を専任で残す</li><li>● 歩道の整備</li><li>● 車の規制（通行制限）</li><li>● 自主的な親御さんの見守り</li><li>● 青パト隊活用</li><li>● QRコードを使用したポイント制度を活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 見守り体制の充実</li><li>● 地域通貨のもーやっこ券で謝礼を出す</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 祭り、イベントなどで喜びを共有することにより、地域の取り組みを知る</li></ul>
<p>「QRコードを使用したポイント制度」 (兵庫県豊岡市における地域高齢者向けの取り組み) 市役所が携帯電話のアプリとして開発 登録者の歩行数によってポイントが得られる仕組み</p> <p>&lt;条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ポイントは登録者自身には使用できない</li><li>・ ポイントは市の指定先への寄付金となる</li><li>・ 寄付金は学校用品代に使われる</li></ul> <p>&lt;効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者の健康長寿対策</li><li>・ 児童生徒の保護活動（登校時に一緒に歩行）</li><li>・ 瀬戸市の社会保障を軽減</li></ul>		

## ④ まとめ

- 通学路の安全（整備、見守り体制）
- コミュニティスクール立ち上げからの充実
- 地域イベント、特色の継承と共有